

Leica Pegasus:Two

モバイルマッピング・ソリューション



Leica Pegasus:Two

ユーザーの意思だけが推進力 – 独立した車両、扱いやすいデータ、 そして、複数のセンサープラットフォーム

Leica Pegasus:Two は、データの取得から成果品の生成までを 1 台で完結するライカジオシステムズのモバイルマッピング・ソリューションです。カメラや追加センサー用の外部トリガーおよびシンクアウトプットが付い

た LiDAR プロファイラなど、統合したハードウェアを提供。簡単にフライイン、データ収集、フライアウトが可能です – 専用車両や車両の改造は不要です – また、バッテリーを搭載しているため、長時間計測することができます。

Leica Pegasus:Two すべての情報をくまなく取得

Leica Pegasus:Two はキャリブレーション済みの画像と点群データの両方を取得します – つまりデータの取りこぼしがありません。360°の完全な視野と LiDAR 情報を完璧に同時取得するため、再計測の必要はありません。また、舗装状態を分析するオプションの道路用リアカメラをご利用いただくことでビジネスチャンスはさらに広がります – 一度の計測で 2 倍の成果が期待できるのです。

Leica Pegasus:Two 高い柔軟性と操作性

データ取得、キャリブレーション、Novatel に対応した後処理、対象物のデータ抽出、GIS ベースのプラットフォームですぐに参照することができるレイヤー化したデータ保存など、あらゆる処理をサポートするソフトウェアを備えた Leica Pegasus:Two は、1 台で完璧なワークフローをお約束します。また、光センサーを備えているため、後処理後の画像はすぐに使用することができます。データの取得から抽出まで – これ以外のツールは必要ありません。

主な特長

- 光センサーによるイメージデータ取得時の輝度・バランス自動コントロール機能
- オプションのドーム式カメラでのキャリブレーション済みの 360° のビューによるシティモデリング
- 画像データと点群データがキャリブレーション済みの直感的なプラットフォーム 1 つに統合
- 追加センサー用の外部トリガーアウトプットおよび外部タイムスタンプ
- 購入後に地上スキャナーとプロファイラを個別に追加し、ユーザーがキャリブレーションを実行することも可能
- 専用車両や車両の改造は不要
- Esri® ArcGIS for Desktop との互換性
- 最新の GNSS レシーバを利用
- 画像から、あるいは点群データ内で対象となる 3D データを収集/編集
- 扱いやすいデータ – データの量と質、およびスケジュールと後処理スピードを考慮しながら作業を実行

ハードウェアの特長

- 200 Hz の高速シングルプロファイラやマルチビームプロファイラなど、さまざまなプロファイラとの互換性
- 市場で最大の CCD ピクセルサイズ – 5.5 μm x 5.5 μm
- 4MB カメラ x 6 台を使用して 360° x 270° の広範囲をカバー – (オプション) スカイカメラ/道路カメラ
- 計測距離に応じてデータ取得間隔の調整が可能
- カメラの向きの調整が可能
- NovAtel ProPak6™ により最新の洗練された高精度な GNSS レシーバーは実証済みの堅固な IMU にアクセス、10 秒の停止期間の後でも 20 mm RMS の高精度データを取得
- INS が位置、速度、高度、方向を 200 Hz で決定
- L バンド、SBAS、QZSS のトリプルバンドで、GPS、GLONASS、Galileo、BeiDou を確実に受信
- 輸送ケース 2 つに入るポータブルなシステム：88 x 68 x 81 cm、86.5 kg；65 x 32 x 37 cm、34.8 kg
- バッテリー電源にて動作
- 工業用マルチコア PC、1 TB SSD、USB3 インターフェース、さらに USB、イーサネット、およびバッテリーからのワイヤレス接続 – 車両内で確実な通信が可能



Leica Pegasus:Two は搭載車両を選びません



Leica Pegasus:Two は、ビジュアルイメージの操作性と信頼性に点群データの高い精度を車両速度で統合し、半自動データ抽出ツールで即 GIS で使用できるインターフェースへと変換します。

ソフトウェアの特長

- 半自動データ抽出ツール
- オプションのカメラによる舗装状態の分析
- データ取得中でもシェープファイルでの点群取得対象の追加が可能
- 連続撮影画像、あるいは映像による高速ナビゲーションと対象物の認識
- ソフトウェアのポインターが画像内の点群データに自動的・継続的に“スナップ”
- 正確な計測を行う点群への高速アクセス
- エラーを減らし生産効率を向上するオプションの 3D ステレオ立体視
- 陰になった点や計測できない点も写真測量の処理で取得可能
- データ収集モジュールが GIS ユーザーインターフェースの車両の現在地を表示
- データ収集モジュールはすべてのカメラのライブ映像を同時に表示
- データ収集モジュールによりレーザースキャナーの管理と GNSS のオペレーションが可能
- データ取得中のシステム状況をライブで監視

ソフトウェアのメリット

- モバイルマッピングで空間情報をデジタル化
- 初心者には親しみやすさ、上級者には高度な機能を提供
- イメージベースの高い操作性に LiDAR の正確さを統合
- あまり正確さを必要としないシンプルな GIS にも対応する高い汎用性
- 対象物認識機能 - 道路標識の認識、対象物のぼかしなど高度な機能を追加
- 点群密度があまり重要でない画像統合 - 簡単なデータ収集が可能
- 2 GB / km のデータ管理も可能
- データ収集時間を短縮
- 高いデータ取得効率
- 高い後処理能力
- ライセンス管理 - (オプション) シン・クライアント・ビューワとの互換性
- Esri® ArcGIS for Desktop との互換性
- 高度なフィーチャ抽出には Esri 関連のプラットフォームを活用

Leica Pegasus:Two 1 台で完結するモバイルマッピング・ソリューション



都市計画のための市街地データのデジタル化、予算管理のための道路網の記録、建設予定地の地形計測、あるいは緊急輸送路のルート計画を立てる場合、操作性が高くフレキシブルなワンシステムが必要になります。ライカジオシステムズのモバイル製品群は、完全なハードウェアとソフトウェアソリューションでスピーディなデータ取得、対象物の精確な位置参照を行い、無理なくデータをナビゲート、簡単に空間情報を表示します。

ライカジオシステムズの製品は、精度の高さ、シームレスな製品の統合、そして優れたカスタマーサポートで知られています。真に信頼できるデータが必要なのはライカジオシステムズにお任せください。

When it has to be right.

イラスト、説明、技術データは変更されることがあります。無断複写・複製・転載を禁じます。
Copyright Leica Geosystems AG, Heerbrugg, Switzerland, 2014.
823304jp - 06.14 - galledia



Leica ScanStation P20
超高速レーザーキャナー



Leica ADS100
エアボーン・デジタル・センサー



Leica ALS70
エアボーン・レーザー・スキャナー

● お問い合わせ: di@leica-geosystems.co.jp

ライカ ジオシステムズ株式会社

〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート Tel. 03-5940-3347
www.leica-geosystems.co.jp

- when it has to be **right**

Leica
Geosystems